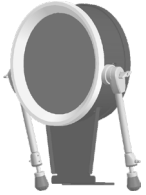


同梱物の確認

パッケージを開けたら、同梱物に不足がないか確認してください。不足しているものがあつたときは、購入した販売店へお問い合わせください。

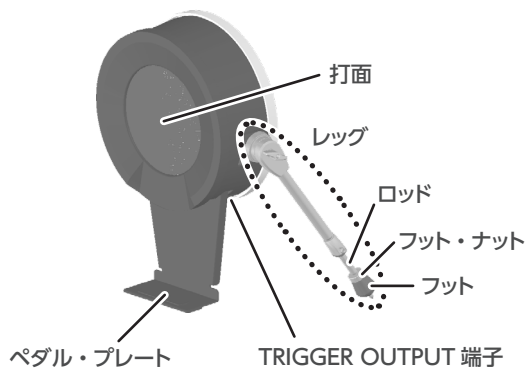
本体	
キック・ドラム・パッチ (フェルト・ビーター用の打面 保護パッチ (*1))	
滑り止めシート (キック・ペダルのズレ防止用)	
接続ケーブル	
ドラム・キー	
取扱説明書、保証書	

※ このパッケージには、キック・ペダルは含まれていません。市販のキック・ペダルを装着してお使いください。

※ 本製品がローランドのドラム・キットに付属されている場合、パッケージの同梱物が異なる場合があります。

*1: ビーターは、フェルト・ビーター、プラスチック・ビーター、ウッド・ビーターなどをお使いいただけます。フェルト・ビーターを使う場合は、付属のキック・ドラム・パッチを打面に貼ってください。フェルト・ビーター使用時は、キック・ドラム・パッチを貼っても打面にフェルトの打痕が残る場合があります。

各部の名称



※ 打面部分に演奏以外の力をかけたり、異物を入れたりしないでください。誤動作や故障の原因になります。

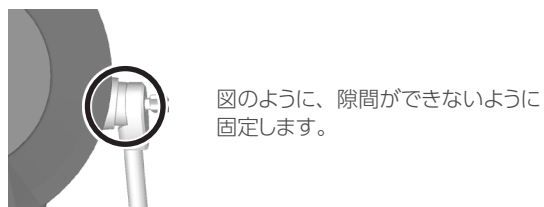
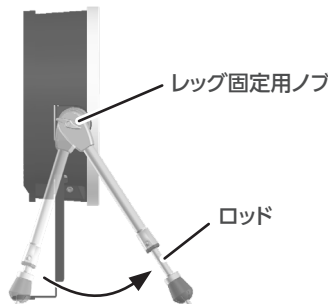
組み立て

注意

本体が重いため、作業中に手や足を傷つけないように、十分ご注意ください。

1. 本体を立てた状態でレッグ固定用ノブをゆるめ、レッグの角度を調節してからレッグ固定用ノブを締めます。

レッグの長さが左右均等になるように、ドラム・キーを使ってロッドの長さを調節します。



2. 設置場所に合わせて、レッグの先端（スパイク／ラバー）を調節します。

スパイク	柔らかい床面 V-Drums マット (TDM シリーズ)、カーペットなど
ラバー	固い床面 フローリング、コンクリートなど

フット・ナットを緩め、フットを回して上に動かすと、スパイク部分が出ます。
フット・ナットを締めると、フットの位置を固定できます。
スパイクの出しかた



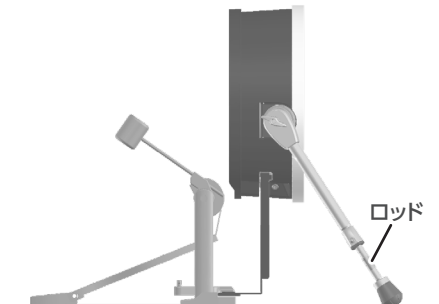
※ スパイクの先端はとがっていますので、取り扱いに注意してください。

※ フローリングなどの床の上でスパイクを使うと、傷をつける恐れがあります。

3. キック・ペダルを取り付けます。

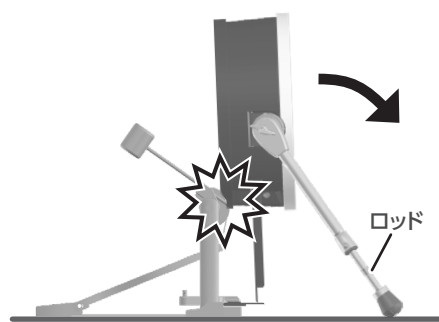
キック・ペダルが床に接地するように、ロッドの長さを調整します。

※ 指を挟まないよう、十分に注意してください。



キックペダルの底面全体が床に接触している

※ キック・ペダルのビーター以外の部分が下図のように干渉する場合は、ロッドを短くして干渉しないように打面の角度を調節してください。



4. ビーターの位置を調整します。

ビーターの位置が打面中央に当たるように、ビーターの長さを調節します。

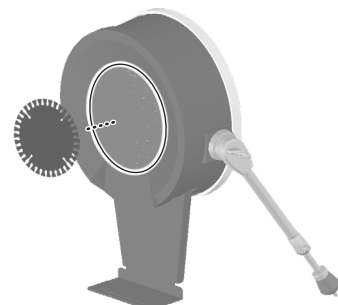
フェルト・ビーターを使う場合

打面を保護するため、必ず付属のキック・ドラム・パッチを打面に貼ってください。

フェルト以外のビーターを使う場合でも、パッチを取り付けての使用には問題ありません。

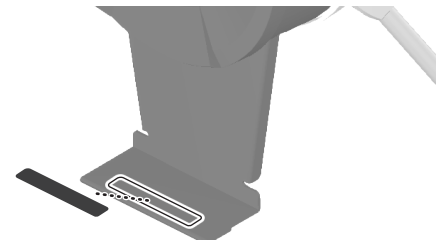
※ パッチをはがした痕跡（のり）が気になる場合は、アルコールを含ませた布で拭き取ってください。

※ アルコールは打面以外に使用しないでください。樹脂などにアルコールが付着すると、変色や破損につながる恐れがあります。



キック・ペダルを踏み込んだときに、キック・ペダルの位置がズれる場合

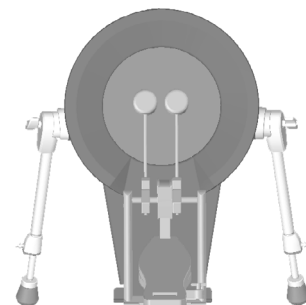
キック・ペダルによっては、キック・ペダルを踏み込んだときにキック・ペダルの位置がズれる場合があります。この場合は、付属の滑り止めシートをペダル・プレートに貼ってから、キック・ペダルを取り付けてください。



※ 貼り付け後 1 日経ってからキックペダルを取り付けることで、滑り止めシートの粘着力が安定します。

ツイン・ペダルを使う場合

KD-12 は、ツイン・ペダルを使用することもできます。2 つのビーターの打点が、打面の中心から左右対称になるように設置してください。

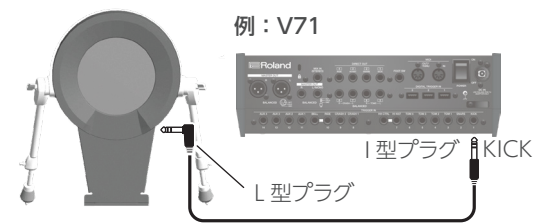


ドラム音源と接続する

KD-12 をドラム音源に接続します。

付属の接続ケーブルで接続してください。

接続ケーブルの L 型プラグを KD-12 の TRIGGER OUTPUT 端子に接続します。



推奨パラメーター設定

KD-12 を各ドラム音源でご使用になるときの、トリガー・パラメーターの推奨設定値です。

ご使用のドラム音源の「PAD TYPE」または「TRIG TYPE」に「KD-12」がある場合は、「KD-12」に設定してください。設定値に「KD-12」がない場合は、ローランド・ホームページのサポート情報をご確認ください。

https://roland.cm/trigger_prm



KD-12 の取り付けかたやセッティングする位置など、使用される環境によって、トリガー・パラメーターの調整が必要な場合があります。

設定方法は、各ドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。